

【第30回全国報徳サミット秦野市大会開催記念】

安来院庄七と草山貞胤の農村振興

令和7年11月1日（土）の第30回全国報徳サミット秦野市大会の開催を記念し、本市出身の報徳仕法を広めた功労者である、安来院庄七と草山貞胤に焦点をあて、その功績について紹介します。

日時

10月11日（土）
13:30～15:00

※事前申込制

場所

秦野市教育庁舎
3階会議室

（秦野市桜町一丁目3番2号）

※駐車場は西庁舎前駐車場
をご利用ください

申込

定員 **50** 名（申込先着順）

令和7年9月16日（火）

8:30受付開始

電話受付（☎84-2792）

または電子申請

電子申請は
右の二次元
コードから
すぐ申込
できます



件名を『10/11 はだの
生涯学習講座』とし、
住所・氏名・電話番号を
記入のうえ、メールまたは
FAXでも受け付けます



講師 **おおくら じゅん**
大倉 潤

はだの歴史博物館 学芸員

昭和42年岐阜県に生まれる。平成3年東海大学文学部史学科考古学専攻を卒業後、秦野市に学芸員として就職。平成4年、秦野駅南部土地区画整理事業に伴う発掘調査で市内初となる旧石器時代の遺構遺物を発見。

はだの歴史博物館の前身である桜土手古墳展示館では、市内の遺跡をテーマにした展示を多数担当。その後市内でのジェットエンジン開発の歴史、前田夕暮の森林経営、妖怪カンスコロバシなど、考古学に限らず秦野市に関するレポートを発表。曾屋水道、震生湖の文化財登録に当たっては、意見具申書の文化財の基本的価値に関する部分を執筆。山川出版社『日本史の中の神奈川県』の震生湖に関する章の執筆も担当。

はだの歴史博物館初代館長を務め、現在は担当技幹として調査研究普及に当たっている。安来院庄七に関しては横曽根村の仕法に関する伊勢原市史の記述を発見したことを契機に地道に資料を収集し、今日に至る。

問 合 せ

秦野市文化スポーツ部 生涯学習課

TEL：0463-84-2792 FAX：0463-86-6563

メール：s-gakusyu@city.hadano.kanagawa.jp

